

諸先生御選

現代俳句協会副会長 倉橋 羊 村 選

- ◎奔放に落ちて冬滝こたませり 小川名梅乃
- 少女らのサブレー句ぶ黄落期 野上 貞勝
- 水槽の河豚の目悲し昏るる街 秋山 佳史
- 雪残る「戌辰乃役」の武家屋敷 秋山 佳史
- 病む人の言葉短かし小春かな 増田 守
- 時雨来る藩邸跡の南部坂 藤本 友子
- 雨やどりの鳩居堂なり日記買ふ 藤本 友子
- 駅といふ集散の核翳雲 野上 貞勝

園主宰 石河 義 介 選

- ◎歌舞伎座の霜の鉄骨風の音 増田 守
- 生姜酒のど通りゆく旅の宿 安沢 文枝
- 秋草を喰む牛の目に隠岐の海 桜井 幸枝
- 大根干す竿半分に男シャツ 小川名梅乃
- 鬼柚子の凹凸ひとの浮き沈み 増田 守
- 赤い羽根胸に最後のクラス会 平井 与史
- 雨やどりの鳩居堂なり日記買ふ 藤本 友子
- 落葉にもなんと音あり白馬村 秋山 佳史

あかぎ主宰 飯村 寿美子 選

- ◎赤い羽根胸に最後のクラス会 平井 与史
- 缶一つあれば遊ぶ子小春日和 小川名みさ
- 難病を二つかかえて夜の長さ 平井 与史
- 大根干す竿半分に男シャツ 小川名梅乃
- 糸瓜忌や父の書棚の小さきメモ 藤本 友子
- 雪残る「戌辰乃役」の武家屋敷 秋山 佳史
- 絵のやうに氷川丸据え文化の日 野上 貞勝
- 歌舞伎座の霜の鉄骨風の音 増田 守

古志 小寺 敬 子 選

- ◎缶一つあれば遊ぶ子小春日和 小川名みさ
- 冬桜咲いて淋しや里の山 岩野ヤエ子
- 秋草を喰む牛の目に隠岐の海 桜井 幸枝
- 花芒ここにも跡とり無き畑 瀬戸 溪水
- 大根干す竿半分に男シャツ 小川名梅乃
- 近く秋や天災地変地球老ゆ 瀬戸 溪水
- 雨やどりの鳩居堂なり日記買ふ 藤本 友子
- 落葉にもなんと音あり白馬村 秋山 佳史

饗 焰 北 登 猛 選

- ◎鬼柚子の凹凸ひとの浮き沈み 増田 守
- 立冬や朝の寝床のラジオ聞く 佐渡谷 秀一
- 秋草を喰む牛の目に隠岐の海 桜井 幸枝
- 奔放に落ちて冬滝こたませり 小川名梅乃
- 金木犀午睡の鼻をくすぐりぬ 桜井 幸枝
- 日の匂い含み落葉の積りゆく 小川名みさ
- 山茶花や閉ぢし老舗のメガネ店 小川名梅乃
- 俳友のまた一人逝き石路の花 平井 与史

末黒野主宰 小川 玉泉 選

- ◎奔放に落ちて冬滝こたませり 小川名梅乃
- 秋草を喰む牛の目に隠岐の海 桜井 幸枝
- 逝く秋や天災地変地球老ゆ 瀬戸 溪水
- 天高く太鼓の調べ響きたる 柳沢 正子
- 日の匂い含み落葉の積りゆく 小川名みさ
- 四方から風の声呼ぶ冬木かな 佐渡谷 秀一
- 駅といふ集散の核翳雲 野上 貞勝
- 俳友のまた一人逝き石路の花 平井 与史

頂点 鶴 巻 ちしろ 選

- ◎大根干す竿半分に男シャツ 小川名梅乃
- 缶一つあれば遊ぶ子小春日和 小川名みさ
- 花芒ここにも跡とり無き畑 瀬戸 溪水
- 糸瓜忌や父の書棚の小さきメモ 藤本 友子
- 山茶花を髪にかざしてはしやぐ子ら 安中 忠夫
- 銀杏散る長さ祈りの人ありし 岩野ヤエ子
- 赤い羽根胸に最後のクラス会 平井 与史
- 雨やどりの鳩居堂なり日記買ふ 藤本 友子